



KAHF ニュースレター

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町 2-2 京都市国際交流会館 3 階

財団法人 京都国際文化協会内

京都ホストファミリー協会 (KAHF)

No. 15

2016 年 3 月発行

2016 年度 行事予定

ホストファミリー入門

4 月 24 日(日)

・ウェルカムパーティー

(吉田南キャンパス生協 1F)

5 月

・ハイキング(予定)

7 月

・祝園祭

10 月

・大原バーベキュー(予定)

2017 年

1 月 15 日(日)

・新春親睦パーティー・バザー

(京都市国際交流会館 特別

会議室)

3 月

・総会ファミリーの集い

私は三条大橋から見る鴨川の上流の風景が好きです。清流には鯉が泳ぎ、水面には鴨やカモメが集っています。土手でジョギングを楽しむ人が走っています。一方、欄干の擬宝珠には天正の元号、豊臣の名が刻まれ、歴史を感じさせます。なんとこのどかで平和な世界なんだろう、そしてこの平和な生活を享受できる自分は幸せだといつも思います。

京都にやってくる多くの留学生もそういう京都が好きようです。古都京都のエキゾチックな雰囲気、それでいて世界最先端の学問研究に触れることができるのですから。まさに夢の国・日本、夢の都・京都なのです。現実の厳しさに苦しみ、生活に追われている我々には、彼らのそんな思いにびっくりすることが多いですが、よく聞くと納得できるのです。他国との戦争もなく、徴兵制も敷かれていない、難民問題・宗教対立・・・世界が苦しんでいる諸問題は島国日本には関係ないのです。(私は他人事にははいけないとは承知しています)

千年前の文物、建物が今なお大切に保存されている、そんな国は世界中探しても稀なのです。

色々な理由で京都を選んで、学問研究している留学生達にどのようにつきあえばよいのでしょうか。

まずは、私たちが当たり前として生活の中で接している文化・伝統をそのまま示したらよいのだと思います。身近なところにある「日本」「京都」が、周りを振り返ってみるといっぱい見えてきます。それでいて、彼らが体験していないことが沢山あります。納豆、味噌汁を食べたことある？と質問しますが、肉じゃが・すき焼きなどの家庭料理は意外に食べていません。

8 月 16 日の大文字は話題になるけれど、道端の祠に安置されたお地藏さまとその祭りの地藏盆は説明も紹介もありません。

幸い京都は伝統文化・行事に恵まれ、また、お金をかけずに気軽に接することもできます。そういったものを見つけ、留学生と参加することは決して難しいことではありません。私はよく留学生を岡崎周辺に連れて行きます。中でも、みやこメッセでは、毎週日曜に舞妓さんの踊り・伝統芸能の実演を見ることができます。盆栽展、刀剣展などの展示会もあります。星

食には近くのお蕎麦屋さんに入ります。庶民的な食堂には留学生の興味を惹くものが沢山あります。お花・お茶は知らない、着付けもできない、という日本人が多いですが、留学生が体験する機会は沢山あります。国際交流会館の掲示板を見ることをオススメします。

外国人と付き合うのは、「英語を話せないし遠慮します」という方が多いです。「おもてなしの東京オリンピック」に向けて、外国人との交流はどんどん増えてくるでしょう。留学生も、現状の何倍もの人数になるはず。カーフのファミリーには、留学生とのおつきあいが楽しいから、という方が多いです。英語を話せなくても、気持ちで何とかなんと頑張っておられます。日本語を話せる留学生がほとんどで、意思疎通に困るケースは少ないです。英語を使う場合でも、私は中 2 レベルで十分ですよと言っています。自分で学んだ英語力を怖がらずに使ってみることで。カーフを通して、普段着の付き合いで外国籍の息子娘たちとの国際交流を進めていきましょう。(仲村邦彦)

平素、KAHF の活動にご尽力頂き、有難うございます。お陰様で、2015 年度もいろいろな行事や個々の付き合いを通して、留学生との交流を深めることができました。今年度の活動をまとめたニュースレターを作成しましたので、どうぞお受け取り下さい。なお、ニュースレターはホームページでもご覧いただけます。行事予告などはホームページやフェイスブックでも行っています。

ホームページ URL : <http://kafh.web.fc2.com/>

フェイスブック グループ名 : KAHF (Kyoto Association of Host Families)

2015年度会務報告

2015年度に80名の新しい留学生(No.1842~1921)を受け入れて、HFとB/S会員をマッチングしました。詳しくは別紙資料をご覧ください。

2015年度に新たに6名のHF会員(No.461~466)の入会がありました。よろしくお願いします。また、9名の会員が退会されました。これまでのご協力に感謝します。この結果、現在活動中の会員は106ファミリーとなりました。詳しくは別紙資料をご覧ください。

2013年度に発足した新しいHF活動であるBrother/Sister(B/S)プロジェクトへ2015年度に7名のB/S会員(J-039~J-045)が新たに登録されました。詳しくは別紙資料をご覧ください。

2015年度の共通行事として、

- ・ファミリー総会(2015.3.22、スペインレストラン TioPePe、)
- ・ウェルカムパーティー(2015.4.19、京都大学生協吉田食堂)
- ・春のハイキング(2015.5.2、宝が池)
- ・料理教室(2015.5.17、あじわい館京都)
- ・大文字ハイキング(2015.5.31、大文字山登山)
- ・祇園祭船鉾参観とゆかた着付け教室(2015.7.14)
- ・サントリー京都ビール工場見学会(2015.8.5)
- ・大原バーベキューパーティー(2015.10.18、龍池財団大原郊外学舎)
- ・サイクリングの会(2015.11.1、宇治方面)
- ・京都市防災センター見学(2015.12.6)
- ・新春親睦パーティー・バザー(2016.1.17、京都市国際交流会館)
- ・凧揚げ大会(2016.3.6、京都市左京西部市民いきいきセンター+鴨川公園)

を催しました。留学生とファミリー、ファミリー間、留学生間の和気あいあいの交流ができた楽しい行事でした。

行事報告

2014年度 総会・ファミリーの集い 2015年3月22日(土) 12:00 - 15:00

今年度の総会・会員の集いは北白川のスペイン料理店「TioPePe」で開催しました。参加者は、HFが23名、B/S会員が2名でした。2014年度の会務報告および会計報告(谷垣代表)の後、食事をとり、その後、B/S会員の竹口美久さんの「タイでの研究生生活を送って」と題するお話をいただきました。



食事はTioPePeのご主人の心づくしのものであり、前菜から、メインの肉料理、魚介のパエリアを含む美味豪華な料理であった。また、話題を提供された竹口さんは、2日前にタイでの3か月間の研究生生活から帰られたばかりであ

り、単なる旅行者ではなく、タイで生活された、しかも博士論文の対象として研究をされた結果のお話であり、非常に興味深いものでしたが、食事に思ったより時間が掛かったために、話を短縮していただき、後の質疑応答・懇談の時間が殆ど取れなかったのが残念でした。



2015年 春

ウェルカムパーティー 2015年4月19日(日) 14:00-16:00

場所： 京都大学生協吉田食堂1F 参加者：30ファミリー、43名、B/S：9名、留学生：約65名

この行事では新来の留学生を歓迎し、留学生に対するKAHの紹介やファミリー、B/Sとのマッチングを行うので名称を従来のケーキパーティーを改めウェルカムパーティーとしました。もちろん新旧留学生の参加と交流を歓迎することは従来通りです。

パーティーの案内を各所に掲示したので申込が多かった（メールでパーティーまで：13名、会場で：28名、その後：15名、合計：56名）。申し込み多数のためホストファミリー、B/Sとのマッチングが大変でした。



けん玉トリッカーズの皆さん有難うございました

今後ホストファミリーの増強が重要と痛感しました。

けん玉グループ「けん玉トリッカーズ」の皆さんによるけん玉のデモおよび留学生への指導があり楽しく盛り上がりました。くじ引き、バザーも例年通り行いました。

宝ヶ池ハイキング 2015年5月2日(土)

留学生とB/S会員との直接の交流を目的に軽いハイキングを計画しました。留学生は11名が参加しましたが、HFは1名、B/S会員も1名だけでした。地下鉄「国際会館」駅に集合し、宝が池の湖畔で昼食をとり、ボートに乗り、鯉や亀に餌（パン）をやったりしました。池を一周の後、「国際会館」駅に戻って解散しました。天気に恵まれ、楽しい一日でした。



料理教室 2015年5月17日(日) 13:00~17:00

場所： あじわい館 3F 調理コーナー

参加者： 41名(留学生 26名+子供 1名、B/S 3名、ファミリー11名+子供 2名)

料理： 和風オムライス、水菜とささみのサラダ、澄まし汁、水羊羹

申し込みは 50 名程でしたが、やむを得ぬ欠席もあり、初めての会場の為場所が分かりにくく、集合時間、準備の時間、調理の説明の仕方(モニターがありましたが今回は使用せず。)など思う様に行かず参加者の方に申し訳なかったと反省しています。しかし、いざ調理が始まると、どのグループも和気あいあいと楽しんでいたので、出来上がった料理も美味しくて、きれいに平らげていました！

留学生からは以下のような感想が寄せられました。

★楽しく料理ができ、美味しかった。 ★簡単だったので、再度自分で作ってみる。 ★自分のファミリーとは違うファミリーとの触れ合いが良かった。 ★色々な国の留学生と話げできた。 ★毎月料理教室をして欲しい。 ★B/S との交流を楽しみにしているので、もっと B/S に参加して欲しい。



大文字山ハイキング 2015年5月31日(日) 13時~15時頃

しばらく続いた雨の予報が、週末に突然好天気予報に変わり、ほっとしました。雨の予報にハイキングをあきらめて別の予定を立てた人もおられたようです。当日は晴れ、大阪まで見晴らせませんでしたが涼しい風もあってハイキング日和でした。留学生、B/S、ファミリー併せて28名、新しい仲間ができて話が弾んでいました。ご苦労様でした。



夏

ゆかた着付け教室と祇園祭船鉾参観 2015年7月14日(火)

ゆかた着付け教室 14:00~・15:00~・16:00~

場所： 左京西部いきいき市民活動センター 和室

講師： 掛水みさ子様

参加者は女子10名、男子1名でした。今年は、参加時間を3つに分けて少人数クラスにしました。何度も練習を重ね、皆に教えらるほ



ど、着付けを完璧にマスターした留学生もいました。概ね、全員ができるようになりました。開催場所がちょっと、わかりにくいので、来年はひとまち交流館で！！

祇園祭 船鉾参観 18:00～

ファミリー12名、留学生48名、B/S会員2名、計62名の参加で山鉾参観は無事終える事ができました。今年は大勢の参加で良かったです。色とりどりの浴衣に身を包んだ留学生もたくさん参加してくれてきっとよい思い出になった事でしょう。お天気には恵まれましたが猛暑の中お世話いただいた皆様ありがとうございました。



サントリー京都ビール工場見学会 2015年8月5日(水)

酷暑の中、一服の涼を求めて、サントリーのビール工場見学を計画しました。参加申し込みは30名でしたが、さすがにこの暑さの中、出席者はHF：6名、B/S：2名と友人1名、留学生：15名の合計24名でした。集合場所の阪急「西山天王山駅」から工場まで猛暑の中（気温37°C）を少し歩くので、心配しましたが、皆さん元気で、ビールの製造工程の見学の後はプレミアムモルツの試飲を楽しみました。

微



カラカラののどを潤す



金色に輝くなんやら恐ろしげな機械



ほろ酔い機嫌で

大原バーベキューパーティー 2015年10月18日(日) 11:00～14:30頃

場所：龍池財団大原郊外学舎今年のBBQは、絶好の好天に恵まれました。参加者は、ファミリー33名（うち子供1）、B/S会員3名、留学生25名（うち子供2）、合計61名でした。



焼き肉開始



好評の和風カレーライス



食事後のゲーム



お疲れ様でした

例年に比べて、やや少なめでしたが、その分、焼き肉、和風野菜カレーなど食べ物は十分にあり、食べながら異文化交流を楽しみ、それぞれ食欲を満たした後、ゲームやじゃんけんでリフレッシュし、秋の一日を楽しく過ごしました。

B/S 企画

宇治サイクリング 2015年11月1日(日)09:00~17:00頃

場所：京都市内～宇治周辺

秋は紅葉も始まり、過ごしやすい気候なので、サイクリングには最高のシーズンです。秋晴れの休日を活かして、日本人B/S2名、留学生3名の計5名で宇治までサイクリングに出かけました。京都市内（三條駅）に集合して自転車で宇治まで移動し、そこから景色の良い天ヶ瀬ダムや人気観光スポットの平等院を巡りつつ、宇治茶や和菓子を堪能しました。宇治を満喫できた楽しい一日でした。



片道約20kmのコース



朝9時に三條に集合、宇治を目指しました。畑の広がる川沿いのサイクリングロードが続きます



天ヶ瀬ダムに到着。見晴らしの良い展望台からの眺めです。ここで昼食をとりました



今日の参加者およびその自転車姿です

京都市市民防災センター見学 2015年12月6日(日) 13:15~15:30

京都市市民防災センター見学はKAHFでは久方ぶりですが、今回、16名の参加があり、留学生もその家族を含め8名が来られました。地震体験では震度7から5までの揺れを体感し、また火事の映像に向け消化実習するなど、真剣な中にも和やかな時間が持てました。



震度7の体感



消火訓練

冬

2016年新春親睦パーティー・バザー 2016年1月17日(水) 14:00~16:00

KAHF 恒例の新春親睦パーティーが京都市国際交流会館で今年も賑やかに開催されました。参加は、留学生 48 名、ファミリー 約 70 名、B/S 会員 4 名、合計約 122 名でした。畑様の司会で進行、谷垣代表の挨拶、乾杯の後、会食 に入りました。留学生同士、ファミリー同士、留学生とファミリーなど、賑やかに話が弾みました。アトラクションは、子供達お楽しみの、お年玉タイム。司会はロジャー奥田様が活躍。その後、B/S 会員紹介と、インド人学生による素晴らしい歌声と踊りが披露されました。時間となり、バザーへ移行。お陰様でバザーも成功裏に終了しました。



子供達のお年玉タイム



B/S 会員の紹介



インド留学生の踊り



盛況のバザー会場

凧揚げ大会 2016年3月6日(日) 13時~

参加者は総勢 35 名、留学生はお子さん連れの家族での参加もあり、ファミリーは約 10 名でした。

まず、京都市左京西部いきいき市民活動センターに集合し、ファミリーの指導で各自に凧を作りました。千千石さんお手伝い有難うございました。ついで皆さんそれぞれ自作の凧を持って出町デルタに移動し凧揚げを楽しみました。適度な風と気温に恵まれた凧揚げ日和でした。KAHF の定番イベントの一つになればいいですね。



"Together"

Photo by Marina P.



"On the wings of the wind" Photo by Marina P.



寄 稿

KAHFのメンバーになって 西村 日出男

20年ほど前、我が家は長岡京市の国際交流協会のメンバーとして、姉妹都市交流に参加したり、ホームステイを受け入れたりしていました。3人の子も達は次々に我が家にやって来る外国の方々を通して、世界への視野が開かれたようです。とりわけ、次女は大学を休学して、アメリカへ行き、我が家にホームステイしたファミリーの家にホームステイさせてもらったりして、アメリカ各地を旅してきました。その後はその娘の外国の友人を次々と我が家に短期ステイとして受け入れてきました。娘は今では小学校教員をしながら、3児の母親として奮闘しています。

私がKAHFの春のティー・パーティーに参加したのは6年ほど前でしょうか。初めてKAHFのホストファミリーとして留学生を引き受けたのが、中国の内モンゴルから京大に留学していた蘭さんでした。早速我が家に招待しました。友人のアルンさんも一緒でした。長岡京市を案内してから、我が家で会食、懇談した後、私の笛と家内の琴の演奏を聴いてもらいました。すると今度は彼女たちが別室でごそそしたかと思うと、モンゴルの民族衣装に着替え、蘭さんは「お父さん、お母さんに捧げる歌」を歌ってくれました。大感動でした(写真)。蘭さんは現在、結婚して名古屋に在住し、3歳のお子さんの育児をされている



ようです。アルンさんは先日(1/17)の新春パーティーにご主人と2歳のお子さんと一緒に参加されていました。

私は6つの大学の講師をしながら、様々なボランティア活動に参加しています。特に、環境保全活動としては「長岡京市環境の都づくり会議」(検索)の中の「環境教育ミーティング」を主催して12年になります。また、政府、京都府、長岡京市が共同で支援する放課後子ども教室として「すくすくキッズテン」(検索)を運営しています。私の願いは、誰もが誰もの成長に関わること(教育)の出来る社会の実現です。子どもは勿論、大人も生涯成長します。人の成長に関われることは大変な喜びです。自らも成長できるからです。

イタリアからの留学生シルヴィアさんは日本のシャーマンに関心が有り、毎回、かなり長いメール文の遣り取りをしました。私自身が日本の文化をシャーマンの視点から見直すことが出来、大変に勉強になりました。一昨年、彼女は帰国しましたが、フェアウェルパーティーを我が家で開催しました(写真)。先日、彼女から日本式の年賀のメールが届きました。流暢な日本語でした。私は留学生が日本の文化を学び、日本を好きになってもらえることに関われるのに無上の喜びを感じています。これからも微力を尽くして参ります。(以上)

ブラザーとして二年間活動して 丹羽 健二

こんにちは。京都大学修士二回生の丹羽健二と申します。私は大学院進学のために2014年4月に京都に引っ越してきました。なじみのない京都という土地でなんと

く寂しさを感じているときに、KAHFに出会いました。

日本人学生と留学生は学校の中では意外と出会う機会が少なく、KAHFのブラザー、シスターという制度はお



互いに対してとても利益のあるものだと思います。私自身はこの一年半の

留学生との交流を通して、できるだけ留学生に京都らしさに触れてもらおうと意識して京都の季節の行事に留学生を連れ出していましたが、一方で私自身も意外とわかっていないことが多く、「一緒に学んでいく」距離感が“ブラザー”らしく、仲良くなることができたのかな、と思っています。また、すでに帰国した台湾からの留学生たちとはいまだ

に連絡を取り合っており、今度は私が台湾を案内してもらったりもしています。

光陰矢の如しといいますが、私も二年間の京都での学修を終え、この3月には就職のために東京に戻ります。しかし、この二年を通して、世界中どこにいても連絡を取り合える友達ができ、KAHFでブラザーをやっている本当によかったと思っています。

B/S制度はまだまだできたばかりで、しかも毎年入学卒業、留学などで日本人学生側が激しく入れ替わるので、ホストファミリーの方のように安定的に運用ができていない状況です。私自身も当初思っていたほど貢献ができず申し訳ない思いですが、今後のB/Sメンバーならきっとうまくやってくれるだろうと信じています。是非頑張つて、楽しんで、KAHFを盛り上げてください。二年間ありがとうございました。

日本の会社に就職して 応 佳

四年前には、日本で仕事をするとは夢にも思っていま
せんでした。日本の会社についての噂をいろいろ聞いて
いました。会議の時間が長い、23時まで仕事をした後同
僚と酒を飲んでから終電で帰宅する、決定に時間がかか
る。いいと思ったideaはすぐ実行に移す中国やアメリカ
とはだいぶ違う、等々。

学生時代の最後の一年になったとき、試に就活をして
みてもいいんじゃないか、若し就職が見つかったら選択
肢が一つ増えると考えました。その結果、順調に内定を貰
うことができました。そこで、試に様子を見てみようとい
う気持ちで日本の会社に入社しました。私の勤めること
になった会社は長い歴史を有する化学工業の会社です。

入社以来興味深く感じた二つのことを話したいと思
います。

一つ目は、新人研修のときのマナー研修です。礼儀作法
を専門に教える先生が来て、どのように立つか、名刺はど
のように渡すか、座り方は、電話の受け方は、等々の訓練
を受けました。座るときはどんなに長くても膝を組むこ
とは許されません。この様なことは日本人から見れば基
本的な仕事上のマナーだと思うでしょう、しかし当時、私
は非常に奇怪なことに感じました。日本の会社は仕事の
結果だけを大事にするのではなく、仕事をしているとき

工作初体験

大概四年前我是怎么也想不到自
己会在日本工作。因为有很多日本
公司的传闻,比如花很多时间开会,
比如工作到23点后和同事喝一杯
然后搭末班车回家,比如做决定很
慢,不像中国和美国觉得是还不错
的idea会立即去做。

到了学生时代最后一年,觉得不如试试找工作,找到了
就多一个选择。结果也是很顺利拿到了公司内定,就抱着试
试看的心情,开始了日本公司的工作。我现在在的公司是一
家历史悠久的化工企业。

想讲一讲入社来感触最深的两件事。

第一件是新人研修时的マナー研修。有一个专门教礼仪
的老师培训我们如何站,如何递名片,如何坐,如何接电话,
等等。坐的话不管多久,我们都不允许翘二郎腿。这些在日
本人看来会觉得是基本工作礼仪,但是对当时的自己来说
是一件很奇怪的事。可能日本公司不光在乎工作结果,同时
也很在乎外在的工作态度。

第二件事是OJT制度。OJT是on job training,就是有
一个前辈带着做事。因为我是外国人在日本时间也不算长,



の外見、態度も大事だと考えているのでしょう。

二つ目はOJT制度です。OJTとはOn Job Trainingのことで、一人の先輩が付いてその指導を受けながら仕事をします。私は外国人で、滞日時間もそんなに長くないので会社が私に付けてくれたOJT先輩は中国語ができて仕事の経験も非常に豊富な人でした。私は材料開発をしているので多くの測定機器を使用します。OJTの先輩は、ほとんど手取り足取りで機器の使用法を教え、どのように実験計画を立て、どのように報告書を書くかを教えてくれました。例えばサンプルを作るとき射出成型機を使うことがあります、多くの要因が製品の性能に影響を及ぼすので、よいサンプルを作るには豊富な経験と知識が必要です。OJT先輩と一緒に仕事をしていると、設定値をなぜこのような値にするのかなどいつでもその場で聞くことができ大変勉強になったと思います。

OJT制度は私にとっては非常に不思議な経験でした。以前、中国やスウェーデンでインターンをしたときは、こんなに詳細に仕事の仕方を教えてくれる人はいませんでした。すべて自分で時間をかけて模索するよりありませんでした。ここではあらゆることについて詳細に教えてくれる人がいます。

初めてこのようなことを経験した外国人として、このような制度の優れた点や問題点を考えずにはおれませんでした。正しい礼儀を知るのはいいことです、しかし過度に礼儀にこだわるのはマニュアル化を招くように思います。OJT制度は仕事への入門には大変良いでしょう、しかし自分で考えることを怠らせてしまうでしょう。確かに、初めから仕事の仕方を教えられれば失敗は減るでしょう、しかし同時に新しい発想も減るでしょう。

いずれにせよ、私は日本の会社で多くのことを学ぶことができました。今のところ大変感謝しています。日本の会社では基本的な仕事に対する素養と仕事の経験を得ることができます。しかし、同時に、日本の会社ではあまり見られない仕事をするときの臨機応変性や判断や決断の果敢さのような中国人の持つ優 điểmも忘れないようにしたいと思います。

有難うございました。(2015年10月)

所以公司指定给我的OJT前辈是会说中文的工作经验也很丰富的人。我的工作是做材料开发所以有许多仪器要用。OJT的前辈几乎是手把手教我怎么使用仪器，怎么做实验计划，怎么写报告。比如做样品会用到注塑机，因为很多因素都会影响产品的性能，所以要做出好的样品很需要经验和知识。跟着OJT前辈一起做，可以随时问参数为什么这么设定，觉得学到很多。OJT制度真的让我有点诧异，以前在中国和瑞典的公司实习时，都没有人很详细指导我如何工作，一切都是自己慢慢摸索。而在这里却一切都有人很详细告诉你怎么做。

我想身为第一次接触这些事情的外国人，不禁会去思考这些制度的好处和坏处。知道正确的礼仪是一件好事，但是太拘泥礼仪会觉得好程式化。OJT制度是很好的工作入门，但是这让人懒于思考。的确一开始就被告知如何工作会减少工作错误的发生，但是也少了新的想法。

不管怎样，在日本公司工作学到了很多。所以现在为止都是抱着感激的态度，可以在日本的公司接受很好的基础职业素养和工作经验。但是同时也要让自己不要忘记中国人做事的优点，在日本公司不太容易看到的做事灵活，做判断做决策的果断。

谢谢 (2015年10月)

.....

ファミリーのコメント

入社後の新人教育を受けて、日本の会社は仕事の結果だけでなく仕事をするにあたって、外から見える形も大事にするということを奇怪に感じたようです。

日本には、茶道、剣道、書道など多くの「道」がありますが、いずれも結果だけでなく結果に至る過程の形や作法を究めることで真髓を会得するという「道」文化とでもいうような考え方があるようです。会社の新人教育の中にもこういう考えが反映されているのかもしれない。外国人に限らず今の若い人たちにどのように伝わっているのでしょうか。

OJTは新人に楽をさせてしまうという指摘はなるほどと思いました。若者の向上心とうまく噛み合えば素晴らしいですね。

西村日出男さん、丹羽健二さん、応佳さん。

大変興味深くまた今後のファミリーの活動にも有意義なご寄稿有難うございました。厚く御礼申し上げます。